

【創刊の辞】

学際的な融合研究への誘い

Invitation to Interdisciplinary Collaborative Research

国際総合科学部長 杉井 学

SUGII Manabu, Dean of the Faculty of Global and Science Studies

山口大学国際総合科学部は、“文系・理系”のような既存の枠組みで仕切られた学問領域の一部を追求するやり方ではない、時代に求められた“新たな学びの場”として設計されています。そのため、本学部を担当する教員も、様々な分野の研究者で構成されています。今回、国際総合科学部が刊行するに至った本研究紀要は、学術的な研究の広がりや融合を命題に、様々な分野の研究成果を掲載し、今後の融合研究への発展のきっかけを作ろうとするものです。

昨今、学際的な融合研究の展開は、いろいろなところで言われます。しかし、これまでに劇的な進展があったかと言われると、そうとも言えません。傍から見れば、それほど難しいことのように見えないかもしれませんが、研究の意義や進め方、求められる成果は、研究分野によって大きく異なります。単に、学際的な融合研究のテーマを考えるだけであれば、そう難しいことはありません。しかし、それらの研究を推し進めていくためには、越えなければならないハードルがいくつもあります。

そこで、第1巻では、研究分野の広がりを見ていただける、いくつかの学術論文と教育実践報告を掲載しています。一見自分の研究とは縁遠い内容と感じられるものもあるかもしれませんが、異なる研究分野の成果の中に重要なヒントが隠されていることはよくあります。将来は、これら様々な分野の研究成果の融合と発展によって、学際的な融合研究が醸成されていくことを期待しています。まずは、この紀要から国際総合科学部での学びの豊かさや学際性を感じていただき、これが本学部から発信する学際的な融合研究への誘いとなれば幸いです。